

# 2019年度 事業計画



SEITOKU

学校法人 東京聖徳学園

## はじめに

学校法人東京聖徳学園は、2018年度に創立85周年の節目の年を迎えました。

これを機会に、本学園が総合教育機関として社会的価値の浸透と深化を果たし、持続的発展を遂げていくため、教職員が本学園の5年後（2023年の創立90周年）の立ち姿を共有し、一体となって目標を達成できるよう「SETOKU VISION 2023」を策定しました。

### SEITOKU VISION 2023

建学の精神	「和」 多様性と協調
将来像 (ビジョン)	トップクラスをめざす学園
大学・短大	持続的な教育改革と大学の實力（志願倍率・実就職率）で、女性大学のトップをめざす
専門学校	トップクラスの保育者養成の専門機関をめざす
中学校・ 高等学校	学力と人間形成において、女子中学・女子高等学校のトップクラスをめざす
小学校	学力と人間形成において、小学校のトップクラスをめざす
幼稚園	地域の幼児教育のニーズを主導するにふさわしい、幼児教育の拠点化をめざす
テーマ	聖徳の社会的価値の浸透と深化
行動指針	意識と行動の自己変革《課題発見力・創造的企画力・専門的解決力》

今年度の事業計画においては、「SETOKU VISION 2023」の達成に向け、次の各事業を進めてまいります。

## 1. 法人（学園全体）

### 【管理運営】

#### （1）第 86 回東京聖徳学園創立記念日式典

開催日：2019 年 4 月 27 日（土）

会 場：聖徳大学川並香順記念講堂

#### （2）外部資金の獲得

##### ① 募金の募集

次の募金の募集を行い、本学園の財政基盤を強化し、本学園における教育研究活動を支援していきます。

- ・聖徳教育学術振興募金
- ・学園創立 85 周年・川並香順先生生誕 120 年記念「聖徳教育学術振興募金」
- ・「Seitoku 古本募金」
- ・「聖徳大学香和会 50 周年記念奨学基金」

##### ② 補助金、競争的研究資金等の獲得

補助金や競争的研究資金等の獲得に向けた取り組みを推進し、教育研究の充実や活性化を図り、質の高い教育を提供していきます。

#### （3）聖徳大学 7 号館校舎の耐震補強工事の実施

聖徳大学 7 号館校舎の耐震補強工事を実施し、本学園の財産を保護するとともに、学生、保護者、教職員等が安心して利用できる校舎とします。

#### （4）「SD 研修 5 ヶ年計画」の推進

「SD 研修 5 ヶ年計画」に基づき研修を実施し、職位に応じた知識やマネジメント能力等を修得させ、事務職員の職能開発に努めます。

#### （5）セミナーハウスの活用

##### ① 「信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート かすがの森」の活用

「信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート かすがの森」を大学及び短期大学の F C（導入教育合宿 Freshmen Camp）、専門学校の学外研修、附属学校の校外学習等の場として活用し、施設の有効活用と維持管理に努めます。

##### ② 「山中湖ガーデンヴィラ」の活用

聖徳学園山中湖荘「山中湖ガーデンヴィラ」を 2019 年 7 月 10 日～2019 年 9 月 30 日の期間で運営し、施設の有効活用と維持管理に努めます。

### 【環境配慮】

#### （1）環境教育の推進

すべての学校において、授業や学外研修、校外学習等を通じた環境教育を推進し、地球環境の保護や環境汚染の未然防止の重要性を学生等に理解させ、健やかな地球を守り育む心の育成と実践に努めます。

## (2) 省資源、省エネルギー及び廃棄物の削減

地球環境の保護のため、コピー用紙使用量の削減、電力使用量の削減、グリーン購入、リサイクル等を推進し、省資源、省エネルギー及び廃棄物の削減に努めます。

## 2. 聖徳大学・聖徳大学短期大学部

### 【教育研究】

#### 《教育の質の向上》

##### (1) + $\alpha$ の魅力開発による学部・学科の改革

既存の学部・学科について、+ $\alpha$ の魅力開発による改革を推進します。

#### [聖徳大学大学院]

##### ① 教職研究科

- ・特別支援教育教諭専修免許状に係る教職課程の開設  
特別支援教育に関する実践的で専門性の高い授業科目を配置し、「特別支援教諭専修免許状」が取得可能になります。
- ・教科教育関係科目の変更  
「教科等の実践的な指導方法に関する領域」の科目の見直しを行い、教科領域内容と教科指導に関する専門性と実践的な指導力の向上を図ります。

#### [聖徳大学]

##### ② 児童学部 児童学科

- ・「スポーツ健康コース」の新設  
「スポーツ健康コース」を新設し、主に運動系の部活動で活躍する高校生を対象に、教師として子どもたちにスポーツ指導できる人材やスポーツ教室等を通じて地域のスポーツ振興に貢献できる人材を育成します。
- ・コース編成の変更  
履修上の区分を明確にするため、「幼稚園教員・保育士養成コース」を「幼稚園教員養成コース」及び「保育士養成コース」に分離します。「幼稚園教員養成コース」においては、幼児教育の5領域を中核とする専門的な学びを実践力につなげ、子ども理解に優れ、確かな指導力のある教員を育成します。「保育士養成コース」においては、子どもの発達を踏まえた保育のプロをめざすとともに、保護者や他職種との連携ができ、地域の子育て支援を推進できる保育士を育成します。

##### ③ 文学部 文学科

- ・「教養デザインコース」の新設  
「教養デザインコース」では、文学部文学科伝統の「学びの楽しさと感動」のコンセプトと、「RE 教育: Reality Experience 人生における貴重な本質的体験型教育」を重視し、「教養力」、「ホスピタリティ力」、「コミュニケーション力」の3つの力を調和させ、〈3 Star Program〉という新しい学びの形を創り上げ、総合的な人間力を育てていきます。

##### ④ 音楽学部

音楽学部において、2020年4月に演奏学科と音楽総合学科を改組し、音楽学科を開設する準備を進めます。音楽学科では、音楽表現及び音楽を応用した実践に必要な専門的な能力を養い、音楽文化の発展を担うことのできる優れた感性をもった演奏家、音楽教員、音楽療法士等、音楽を活かした多様なキャリアを生きる人

材を育成します。

## [聖徳大学短期大学部]

### ⑤ 総合文化学科

#### ・コース制の導入

専門分野を中心に幅広い関連領域の知識・技能を身に付け、自らの適性に合った将来像を描けるようにするため、11 ブランチを「フードマネジメントコース」、「図書館司書・ITコース」、「国際観光・ホテルコース」、「ファッション・造形デザインコース」の4コースに再編します。

### (2) 全学をあげての組織的な内部質保証体制の充実と推進

「聖徳大学・聖徳大学短期大学部 アセスメント・ポリシー」に基づく、三つのポリシーを起点とした自己点検・評価による内部質保証体制の確立・充実・推進に引き続き取り組みます。学習成果の可視化や、データを根拠とした活動による教育の質向上に向けた取り組みについて、各学科で自己評価を行い、さらに自己点検・評価委員会による組織的な点検・評価に基づくPDCAサイクルを有効に機能させ、学生の学習成果をより高い水準にまで引き上げる仕組みの充実と推進に努めます。

### (3) FD・SDの推進

学生による授業評価や教員同士によるFD公開授業参観、事務職員も含めた形で実施する全学FD・SD研修会の取り組みを継続し、教育の質の向上に努めます。

### (4) 附属学校との連携

小中高大連携教員合同研修会を実施し、附属学校との連携研修を通して、一貫教育学園の教員としての資質・意識を高めます。

### (5) 学習支援

聖徳基礎力から専門教育、そしてキャリア形成まで繋がる「聖徳夢プロジェクト」を推進し、学生一人ひとりが抱く「夢」や「希望」の実現と、「自立した女性」としての成長を支援します。また、聖徳ラーニングデザインセンター、語学教育センター及び教職実践センターにおいて、学生のニーズに合わせた学習のサポートを行います。

### (6) 学長裁量経費の措置による教育改革等の推進

学長の裁量により、教育改革、研究や社会貢献活動等の推進、学習環境の整備等に配分できる予算として、学長裁量経費を措置します。

## 【地域・社会貢献】

### (1) 地域の活性化と人材の養成

#### ① 地方自治体、高等学校、企業等との連携

地方自治体、高等学校、企業等と連携により、地域貢献活動を推進し、地域コミュニティづくりや地域社会の発展をめざします。

《協定先》

松戸市、柏市、我孫子市、取手市、八潮市、松戸警察署、千葉県立市川昂高等学校、千葉県立我孫子高等学校、千葉県立安房高等学校、千葉県立市川南高等学校、千葉県立君

津高等学校、松戸市立松戸高等学校、東京都立篠崎高等学校、株式会社千葉興業銀行

## ② 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

聖徳大学短期大学部は、千葉大学が代表の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」、「都市と世界をつなぐ千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業」において、主に千葉県南房総市と協働による事業を実施し、地方創生を推進します。

### （2）生涯学習による社会貢献・地域振興

聖徳大学オープン・アカデミー（SOA）において、地方自治体・地元企業との連携や学内の知的財産の活用などによる講座の企画に取り組み、社会貢献・地域振興を推進します。

### （3）子育て支援

地域の親子交流の場として、「おやこ DE 広場 にこにこキッズ」や「おやこで“ゆるりん”」を運営し、地域の子育てを支援します。

### （4）「知」の還元

#### ① 教育委員会との連携

教育委員会と連携し、人事交流、協働による教材開発や学校課題の改善、教育調査の分析の支援などに取り組みます。

《協定先》

千葉県教育委員会、松戸市教育委員会、柏市教育委員会、市川市教育委員会、我孫子市教育委員会、港区教育委員会、葛飾区教育委員会

#### ② 所蔵する貴重資料の公開

聖徳博物館、利根山光人記念ギャラリー等において、展覧会を開催し、聖徳大学が所蔵する貴重資料を公開します。

#### ③ 講演会、シンポジウム等の開催

研究所等の主催による講演会、シンポジウム等を開催し、広く社会に最新の情報や研究成果を還元していきます。

## 【管理運営】

### 《学生募集》

#### （1）長期履修学生制度の設定

聖徳大学短期大学部において、長期履修学生制度を設定し、多様な学習需要に対応した学習機会の提供ができるようにします。

### 《基盤整備》

#### （2）短期大学の認証評価

聖徳大学短期大学部は、一般財団法人短期大学基準協会の認証評価を受けます。

## 【環境配慮】

### (1) 環境教育の推進

授業や学外研修等を通じた環境教育を行い、地球環境の保護や汚染を未然に防止することの重要性を理解し、健やかな地球を守り育む心の育成と実践をめざします。

### 3. 聖徳大学幼児教育専門学校

#### 【教育研究】

##### 《教育の質の向上》

#### (1) 学生の学びの可視化促進とルーブリック活用の普及

昨年度から活用している「学習シート」の書式・活用方法を改良し、学生の学習進度把握や成長・課題発見に繋げ、学生自身が成長を実感できるようにします。また、ルーブリック活用事例を教員間で共有することで活用を促し、使用する科目や機会の増加を図ります。

#### (2) 教育の質を高める研修の活性化

昨年度変更したFD方法をより深めるために、各授業における新たな取り組みと振り返りを促進します。併せて、実施各授業での成果と課題を全専任教員で共有できるように今年度も研修を実施します。また、業績追加の計画を立て実践し、成果を年度末に報告することで教育の質の向上に努めます。

#### (3) 委員会間の連携強化

全委員長が出席する委員長会議を実施し、各委員会における企画案や進捗状況の共有化を図り、本校としての方向性を統一して意思決定を図ります。

#### (4) 在校生から愛される学校へ

昨年度保護者会や卒業生フォローアップセミナーで本校卒業生の講演を実施しましたが、本年度は在校生に対しても卒業生の講演を実施することで、聖徳出身としての誇りと幼児教育者・保育者になる想いが高まるようにしていきます。また、卒業生フォローアップを継続することで卒業生の技量向上・離職防止を図ります。

##### 《就職の向上》

#### (5) 就職サポート体制の強化

1年次から就職への動機づけを行い全教員による講座・個別対応および卒業後のイメージを高めるための卒業生の講演を実施することで就職への意識を向上させて希望する就職先への就職や公務員試験の合格、実就職率の向上を図ります。

#### 【地域・社会貢献】

#### (1) 教育委員会、幼稚園等との関係強化

港区教育委員会との連携を深め地域貢献に努めます。また、幼稚園などの職場体験時に中学生・高校生に対して幼稚園・保育所の違いなど職業意識向上のサポートを実施します。

#### 【管理運営】

##### 《学生募集》

#### (1) ステークホルダーから共感される学校へ

「幼児教育者・保育者として必要な専門知識や豊かな人間性を身につけた人材を育成」する専門学校として入学から卒業までをイメージした広報にプラスをすることで「何が

できるようになるか」を明確に発信していきます。

《基盤整備》

**(2) 業務削減に向けた業務量の可視化**

業務の選別を行うことで、業務の削減や経費の削減を実現します。

**(3) 生産性の向上**

ルーチン業務の可視化を行うことで、業務の効率化・生産性の向上を図ります。

**【環境配慮】**

**(1) 環境を意識した教育・危機管理ができる人材の育成**

危機管理日を設け、上級救命講習・防犯教室・消費者問題講習・租税教室等を実施することで、幼児教育者・保育者として卒業後も活かせるよう支援します。

## 4. 聖徳大学附属女子中学校・高等学校

### 【教育研究】

#### 《教育の質の向上》

##### (1) 探究を柱にした学習による 21 世紀型スキルを身につけた生徒の育成

2019 年度から始まる新しい授業「探究科」とすでに取り組んでいる全教科で展開する「探究型授業」によって「学びの質の転換」を加速させ、生徒が主体的に学び自らの力で新しい知識を創造する 21 世紀型スキルを獲得できるようにします。

各教科においては、授業計画（シラバス）と評価規準の段階別記述形式（ルーブリック）を作成し、探究における質の高い学習過程の展開によって学力の三要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等）を向上させていきます。

##### (2) 英語教育の充実による多様な価値観と豊かな表現力を持つ生徒の育成

文化理解の上の英語力および総合的な言語能力の獲得によって、グローバルな視点と多様な価値観を持ち自分の考えを女性らしく豊かに表現できる生徒を育成します。

英語教育の計画では、英語授業と英語に関する校内外の行事（校内英語劇、海外語学研修、修学旅行等）を密接に連携させ英語力の向上を図っていきます。

特にスピーキング力を高めるため、英語体験型行事（校内留学、国内留学、海外留学）を充実させるとともに、授業ではオンライン英会話や外国人教員による英会話を始めとするスピーキング力強化の学習に取り組んでいきます。

##### (3) ICT 活用によるアクティブ・ラーニングでの効果的・効率的な学びの促進

生徒が一人一台所有する iPad を始めとする ICT 機器を効果的・効率的に学習に取り入れ、21 世紀型スキルの獲得を促進していきます。その活用では、協働学習等により他者との関わりの中でコミュニケーションスキルを高め、「ひとづくり」を大切にした上でのテクノロジー利用に取り組み、ICT 活用なしでは実現できない創造的な表現力を育成していきます。また、育成した表現力を校内外に発表する機会を積極的に創出していきます。

#### 《進学の上》

##### (4) 探究を生かした質の高い進路実現

探究学習によって獲得される主体性やチャレンジ力を生かして、自ら高みを目指して進路実現のため継続的に努力できる生徒を育成していきます。進路マップや進路ルーブリックによる可視化によって生徒自身が見通しを立てて進路実現のために取り組みやすくとともに、e-portfolio（活動成果等を蓄積する電子ファイル）に諸活動の成果を蓄積しながらふりかえり活動で自己省察力を高めていきます。

##### (5) 新大学入試に対応する総合的な取り組み

新しい大学入試で求められる学力の 3 要素を獲得できるよう探究を軸とした教育計画を整備していくとともに、英語 4 技能向上のための学習プログラムや新入試に対応しての進路指導内容についても見直しと強化を図っていきます。

大学入試の動向を注視しながら、附属中学校から大学入試までの計画を再整備し、確かな学力で高みを目指す良質な進路実現ができるよう 6 年間の進路計画を構築します。

## 【地域・社会貢献】

### (1) 地域における附属女子中高の教育的価値の向上

教育活動で地域に貢献するとともに附属女子中高の教育的価値を高めていきます。

#### ① 附属女子中高主催のコンテスト等開催

地域の中学生対象の英語コンテストを開催（9月予定）します。

#### ② 附属女子中高主催の教育研修会開催

地域の小中学校教員対象の、探究、英語および ICT 等をテーマにした教育研修会を開催（6月、10月予定）します。

### (2) 附属女子中高の地域貢献

附属女子中高の教育活動および生徒活動を通し地域の活性化に貢献していきます。

#### ① 地域行事への積極参加

松戸まつりのオープニングセレモニー、松戸高校生講座、北総まつり、秋山まつり等の地域行事に積極的に参加し、地域に貢献しながら地域から親しまれる学校づくりをしていきます。

#### ② 附属女子中高主催の小学生体験型学習行事の開催

地域の小学生を対象に体験型学習講座を開催し（年間9回）、継続的に見える形で地域貢献していきます。

## 【管理運営】

### 《生徒募集》

#### (1) 教育活動と募集活動を一体化させた募集活動を徹底できる学校の構築

学校説明会やオープンスクール等を学事計画（教育計画）に組み込んで「生徒の成長の姿」および「生徒の学習成果」を受験希望者に対する訴求力とできるようにし、教育活動と募集活動を一体化させた募集活動を徹底できる学校を構築します。

また、データ分析から入試制度（しくみ、実施方法、日程等）を改善するとともに、重点募集地域からの目標入学生徒数を明確にする等の入試・募集改革を行い、入学者数の増加に努めます。

#### (2) ホームページ等での学習成果等の発信によるブランドイメージ作り

「探究」、「英語」、「iPad」を主とした学習活動や学習成果をホームページから発信することで「人間教育」を根幹としながら「21世紀型スキルを獲得できる学校」のイメージを構築し、学校説明会等への来校者増につなげていきます。また、同様に SNS、Eメール、DM を活用し学校説明会等への来校者を増やしつつ学校のブランドイメージを作っていきます。

#### (3) 附属女子中高の教育力を訴求力とする学校説明会等の開催

本校の教育力で訴求する学校説明会等を開催していきます。

- ・生徒学習活動、生徒活動成果を見せ「生徒の成長の姿」および「生徒の学習成果」を受験希望者に対する訴求力とする学校説明会を開催します。
- ・受験希望者に対し「探究学習体験講座」「部活体験講座」を実施します。

・生徒主体の企画を盛り込んだ学校説明会等を実施します。

#### (4) 聖徳大学と連携した募集活動

聖徳大学と連携し「看護体験」や「大学見学」を含む説明会を実施します。附属女子中高としての募集活動をするとともに聖徳大学の募集活動にも貢献できるようにします。

《基盤整備》

#### (5) 業務改善による教育力の向上

働き方改革の推進により、業務と経費の削減をするとともに教育の質を向上できるように環境を整えます。

### 【環境配慮】

#### (1) 教育課程上に位置づけた環境教育の実施

探究学習計画の中で環境テーマの内容に取り組み、多面的に環境について考えられる生徒を育成し、生徒とともに自然環境に配慮できる学校づくりをめざしていきます。

#### (2) エネルギー等の削減

教職員に対しての指針であり、かつ、生徒に心がけてもらいたいことを教員から伝えていくための指針である「節約のための行動指針」を作成し、エネルギー等の削減によるCO2 排出量削減を推進します。

## 5. 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

### 【教育研究】

#### 《教育の質の向上》

##### (1) 探究的な授業を実施し、生徒が主体的・協働的に探究活動に取り組むようになる

新教育課程に向けて、探究活動を基盤とし、生徒主体の学びのデザインができ、多様な進路選択が可能となる教育活動を実践します。コンピテンシーを測るために、高校生の全学年にGPS-Academicと中学・高校生の全学年にGTECを導入し、中学1年生でブリテッシュヒルズ英語研修、中学2年生でグローバルキャンプ、中学3年生でオーストラリア修学旅行、高校生はイギリス語学研修、ニュージーランド短期留学など各種プログラムを充実させます。

##### (2) アクティブ・ラーニングに向けたICTの活用

ICT教育を研究・推進し、学びの質の転換に対応した授業・評価方法の改革をはじめ、学習理論・教科実践など継続的な教員研修を充実させます。

#### 《進学の上》

##### (3) 推薦入試やAO入試でのパフォーマンス向上につなげる

大学入学者選抜改革に対応した教育改革と進路指導の研究を進めることにより、学力の3要素をバランスよく身につけ、大学現役進学率をさらに高めます。

##### (4) 中学の授業に探究的な要素を入れ、高校へのスムーズな接続を図る

本校での探究教育完成のために内部進学を希望する気持ちを高め、6年一貫教育のメリット生かしたカリキュラム・マネジメントを実践し、国公立や難関私大への合格率を高めます。

##### (5) 高大連携の機会を増加させる

一人ひとりの能力を伸ばすための高大連携の促進を図り、聖徳大学への高い内部進学率を実現することにより、高校入学者の生徒募集強化につなげます。

### 【地域・社会貢献】

##### (1) 地域密着型の学校として認知度を高める

取手市を中心とした近隣市町村と連携し学校施設を開放し、様々なイベントを企画することで、来校者に本校の施設・設備の良さを知ってもらい、受験生の増加を図ります。また、部活動を強化し、全国レベルの活躍を広報します。

##### (2) 校外における教育活動の推進・社会貢献

校外における教育活動の推進を図り、校外演奏活動や礼法講座などを通して社会貢献を果たします。

### 【管理運営】

#### 《生徒募集》

##### (1) 高校入試制度の研究・改革、イベントへの集客・来校者の増加

高校入試制度の研究・改革と広報戦略の見直しを図り、募集人員の充足率向上を目指し

ます。(探究型入試・帰国子女入試・吹奏楽部推薦入試・駅伝部推薦入試・同窓会入試・教科選択型入試・Web出願)

**(2) 中学入試制度の研究・改革、イベントへの集客・来校者の増加**

中学入試制度の研究・改革と広報戦略の見直しを図り、募集人員の充足率向上を目指します。(帰国子女入試・同窓会入試・A0入試・英語入試・小学生対象体験講座)

**(3) 聖徳ブランドイメージを調査・情報収集、県内女子校のトップを目指して再構築**

聖徳ブランドイメージの再構築を図り、聖徳に対するイメージ調査を実施し、県内女子校のトップを目指します。

**《基盤整備》**

**(4) 教職員の勤怠管理の強化と事務室業務の効率化を図る**

ICカード(就業管理システム)の運用を徹底することにより、組織横断的な協働的活動を推進し、業務の効率化を図り、残業時間を削減することにより、労働安全衛生管理体制の整備を行い、教職員が教育活動に専念できる環境を整えます。

**【環境配慮】**

**(1) 「女性キャリア」での環境教育の実施**

環境保護の意識をさらに高め、ペーパーレスの推進やクリーンプロジェクトの実施など、環境教育の成果を外部発信し、地域環境の保全に努めます。

## 6. 聖徳大学附属小学校

### 【教育研究】

#### 《教育の質の向上》

##### (1) 新教育課程（新学習指導要領対応：道徳・英語・プログラミング）を上回る学力形成と人格形成の実現

2018年度から新学習指導要領の移行措置が始まり2年目、移行措置の実施状況の把握やカリキュラムの検討、評価用ルーブリックの作成など、2020年度の完全実施に向けた指導と評価の研究を進めています。新教育課程を上回る指導を実践する学校として、中学受験に対応できる学力形成・人格形成に取り組みます。

##### (2) 「思考力・判断力・表現力」向上に向けた学習指導・学級経営の実施

すべての教育活動において児童・保護者が満足できる学習指導・学級経営を進めていくため、新学習指導要領に示されている「何ができるようになるか」という点を意識し、授業研究を通して、学校全体で児童の「思考力・判断力・表現力」向上に努めます。

##### (3) 「学びに向かう力・人間性」を高め、児童の自律性と自己肯定感を高める

児童が場に応じた生活態度を身につけられるよう、登下校マナーに目を向けさせ、家庭との連携を含めた「自己評価シート」を用いて、自己肯定感を高めていきます。

#### 《進学の上向》

##### (4) 未来の創り手となるために必要な資質・能力を育み、中学受験で求められる学力を高める

将来への夢や希望をもち、中学受験に向けた心と頭を1年生から発達段階に応じて育てていくため、基礎学力の定着の自覚化につながる「漢字検定」、「算数検定」に合格できるよう日々の指導を徹底し、授業研究を通して、学校全体で児童の「思考力・判断力・表現力」向上に努めます。

##### (5) 外国語（英語）を抵抗なく受け入れられる人材の育成

本校では、2018年度より全学年で学習指導要領を上回る週2時間の授業（6年間では公立より210時間多い学習）を実施しています。その成果を測るため、英語検定の実施と英語授業の満足度を調査し、聖徳大学の語学教育センターとの連携による指導の充実に努めます。

### 【地域・社会貢献】

##### (1) 同窓会組織を活用し、児童・保護者・来校者への学びの場を提供する

本校では、1989年度から現在2,000名を超える卒業生が巣立っており、成人し、社会で活躍する卒業生が数多くいるため、卒業生から児童に向けての授業をキャリア教育の一環として実施したり、さらには、保護者向けの学びの場も提供したりできるよう同窓会組織の活用を進めていきます。

## 【管理運営】

### 《児童募集》

#### (1) 専願入学者数を増やすための入試・募集改革

説明会参加者へのアンケート調査・分析による広報戦略の改善、出願前のダイレクトメールや幼児教室訪問を行い、説明会参加者をこれまで以上に増加させ、出願につなげ、専願入学者を増やしていきます。

#### (2) 入学したいと思える魅力的なイメージ戦略の強化

他校ではできない特色ある教育活動を取り上げ、募集活動の主軸とするとともに、児童たちの声や学習成果、活動成果を可視化し、ホームページや SNS の活用により、これまで以上にスピード感をもって多数発信していき、入学したいと思える魅力的なイメージを作っていきます。

#### (3) 児童の学習活動の向上の可視化を強化した広報戦略

児童に対し、計画的に各種コンクールへの挑戦を促し、児童の意欲を喚起し、本校の特色あるカリキュラムによって身についた力の目安としていきます。併せて、ホームページから受賞結果を効果的に発信していきます。

## 【環境配慮】

#### (1) 緑豊かな附属小学校の立地を活かし、環境への主体的な意識を高める

本校には、他校との差別化となる「小学校の教科書に掲載されたすべての樹木がある緑豊かな校庭」があり、日頃自然に親しむことが難しい児童たちにとって大変恵まれた環境であることから、これからもこの環境に触れ、学習活動に生かす機会を充実させていきます。また、低学年は生活科、高学年は理科の授業を通して学び、同時に環境への視点も育てていきます。

#### (2) 徹底した業務の効率化を実行する

業務方法を改善し、決められた時間内に効率よく業務を遂行していくことで、紙の使用量や電気使用量を削減することにより、エネルギーの節約につながる環境配慮に努めます。

## 7. 聖徳大学附属幼稚園・附属第二幼稚園・附属成田幼稚園・附属浦安幼稚園

### 【教育研究】

#### 《教育の質の向上》

##### (1) 発達段階に応じた生活習慣の習得のサポート強化

これまでのデータ分析から得られた結果をベースにし、より効果的な指導時期を設定し、目標達成度 100%の期限を区切り、全教職員で集中的に指導にあたります。

##### (2) 幼児の可能性を引き出す「各園の重点取組」のカリキュラム展開

###### 〔聖徳大学附属幼稚園〕

2019 年度に実施する七園合同研究保育のテーマを、本園の特徴的な教育として位置づけた上でカリキュラムに展開し、教育効果を高めることに取り組みます。また、本園の特徴的な取り組みである「はだし教育」の効果を再確認するため、実践的な研究に取り組みます。

###### 〔聖徳大学附属第二幼稚園・成田幼稚園〕

園内の各遊びのコーナーの環境を構築し、幼児がより主体的かつ意欲的に活動できる環境を整え、幼児の豊かな活動を引き出すためにカリキュラムに展開し、教育効果を高めることに取り組みます。また、本園の特徴的な取り組みである「はだし教育」の効果を再確認するため、実践的な研究に取り組みます。

###### 〔聖徳大学附属浦安幼稚園〕

本園の特徴的な教育として実施している「体育的活動」について、2016 年度及び 2017 年度に実施した公開研究保育の成果を踏まえ、継続的に取り組むことにより、より教育効果を高めるとともに、「はだし教育」の効果を再確認するため、実践的な研究に取り組みます。

### 【地域・社会貢献】

##### (1) SEITOKU オープン キンダーワールド（親学・園庭開放）の強化

保護者ニーズの的確な把握や、実施内容の適切な設定と情報の発信により、地域における子育ての支援施設としての拠点化に取り組みます。

##### (2) 預かり保育の強化

女性の社会進出が更に進行していく事を認識し、共働き世帯を含めたすべての子どもに良質な幼児教育を提供するために、カリキュラムや運営方法の点検を実施するとともに、利便性の向上に取り組みます。

### 【管理運営】

#### 《園児募集》

##### (1) 新入園児の増加

安定的に質の高い幼児教育を提供するために、教育内容と教育効果の可視化により、経営基盤の更なる安定に取り組みます。

## (2) 保護者満足度の向上

経営基盤の安定のために最も重要な保護者の満足度向上に向けて、れんらくアプリの活用拡大や窓口サービスの簡略化を核とした保護者サービスの向上に努めます。また、更に可視化を図るため、ポートフォリオやドキュメンテーションの導入に向けた準備に取り組めます。

## (3) 給食による PR 活動の強化

### [聖徳大学附属幼稚園・第二幼稚園・成田幼稚園]

「給食があるから」が本園を選んだ理由で第1位である現状を踏まえ、ホームページでの「本日の給食」の写真公開や試食会等を通して入園後の満足度の向上に務めるとともに、自園調理と専任栄養士による他園との差別化を積極的に発信することにより、新入園児の募集に効果的につなげていきます。また、栄養指導、食事マナー、箸の使い方指導など、給食を通じた食育にも積極的に取り組んでいきます。

### [聖徳大学附属浦安幼稚園]

「給食があるから」が本園を選んだ理由で第1位である現状を踏まえ、ホームページでの「本日の給食」の写真公開や試食会等を通して入園後の満足度の向上に務めるとともに、専任栄養士による献立の立案や学園内調理等、他園との差別化を積極的に発信することにより、新入園児の募集に効果的につなげていきます。また、栄養指導、食事マナー、箸の使い方指導など、給食を通じた食育にも積極的に取り組んでいきます。

## (4) 送迎バスによる PR 強化

今後少子化が進行していく中で、園児募集活動において通園バスは更に重要なツールとなっていくことを認識し、安全運行の徹底や利便性はもちろんのこと、通園バスならではの教育効果の積極的な情報発信に取り組めます。また将来的なニーズを的確に把握し、中期的な視野に立ったコース設定に取り組めます。

## (5) 附属小学校との連携強化

相互交流を更に活性化させ、互いの利点を積極的に情報発信することにより、WINWINの関係強化に取り組めます。

## 《基盤整備》

## (6) 残業時間の削減

適正なワークライフバランスに向け、れんらくアプリ等 IT を効果的に活用し、引き続き業務の効率化に取り組むとともに、業務内容の整理や業務量の削減、労働環境の整理整頓、実効的な残業時間削減と意識の向上を目的としたノー残業デーの導入に取り組めます。

## 【環境配慮】

### (1) 環境整備の徹底

環境負荷の軽減のみならず、園内の安全管理上の観点からも重要性を訴求し、教職員の環境保全への意識の向上に取り組めます。

## (2) 園児への環境教育の実施

環境教育の入り口として年長児による「環境見回り隊」に引き続き取組み、節電、節水等省エネルギー化に園児とともに取り組めます。

## 8. 聖徳学園三田幼稚園・八王子中央幼稚園・多摩中央幼稚園

### 【教育研究】

#### 《教育の質の向上》

##### (1) 発達段階に応じた教育のねらいの達成と園児の伸びる力の支援

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて捉え、一人ひとりの発達に必要な体験が得られるような状況をつくったり、必要な援助を行なうための「園生活における指導のめやす」の見直しを行ったりして、園児の伸びる力を引き出します。

##### (2) 教育目標である「いつもにこにこ元気な子ども」が育つ幼稚園

園児に「生きる力」として「見る」「聞く」「考える」「話す」「行動する」力を育み、自主性を伸ばしていきます。

##### (3) 教員のスキルアップ

各教員が外部や内部の研修会に参加し、専門知識・技能の向上に努めます。

###### [聖徳学園三田幼稚園]

「健康な心と体」を育てるために、遊びや生活の中で気づいたり、考えたり、工夫したりしながら友達関係を深め、自立できる子ども達になれるよう環境を整えられる力をつけます。

###### [聖徳学園八王子中央幼稚園]

「運動あそび」を通して、友達とかかわる中で、お互いの思いや考えなどを共有できるような子ども達を育成する力をつけます。

###### [聖徳学園多摩中央幼稚園]

「子ども同士の伝え合いからの学び」をテーマに子どもの言葉からの学びをさらに深く読み取る力を育成します。

##### (4) 「心」と「体」のバランスのとれた園児の育成

本園の教育を受けた子ども（小学生）の実態調査を実施し、その結果を教育改善に活かします。

### 【地域・社会貢献】

##### (1) 子育てパートナーの役割を担う幼稚園

聖徳大学・聖徳大学幼児教育専門学校の教員や聖徳大学保健センターとの連携により、保護者の子育てに関する悩みなどについて積極的に相談を受け、子育てパートナーの役割を担う幼稚園をめざします。

##### (2) 地域と交流している幼稚園

###### [聖徳学園三田幼稚園]

園児と高齢者との交流によって、高齢者は園児の活力を授かり、園児には高齢者をいたわる気持ちや自分が役に立つ喜びを感じられるよう努めます。

###### [聖徳学園八王子中央幼稚園]

園児と高齢者との交流によって、高齢者は園児の活力を授かり、園児には高齢者をいたわる気持ちや自分が役に立つ喜びを感じられるよう努めます。また、近隣の小学校

へ訪問し、そこでの体験を通して、小学校教育への円滑な接続を図っていきます。

#### **[聖徳学園多摩中央幼稚園]**

園児と高齢者との交流によって、高齢者は園児の活力を授かり、園児には高齢者をいたわる気持ちや自分が役に立つ喜びを感じられるよう努めます。

### **【管理運営】**

#### **《園児募集》**

##### **(1) 子どもの成長が日々感じられる幼稚園**

保護者との綿密な連携を取り、子どもの成長が日々感じられるような幼稚園をめざします。

##### **(2) 就園前の幼児が楽しめる幼稚園**

#### **[聖徳学園三田幼稚園]**

就園前の親子が園内で遊んだり、教員や在園生と関わったりすることで、幼児が幼稚園は楽しいところだと思えるよう努め、このことを園児募集につなげていきます。また、園庭開放や見学会の実施により、さらに本園に興味関心をもっていただけるよう努め、これを入園につなげていきます。

##### **(3) 満三歳児クラスの充実**

#### **[聖徳学園八王子中央幼稚園]**

開設3年目の満三歳児クラスの遊びの充実を図り、幅広い受け入れを行っていきます。

##### **(4) 満三歳児クラスの開設準備**

#### **[聖徳学園多摩中央幼稚園]**

2020年度4月の入園開始に向け、入園者を募集して参ります。

##### **(5) 未就園児教室への参加者の増加**

#### **[聖徳学園三田幼稚園]**

ホームページでの広報に力を入れ、さらに本園の魅力を伝えていくとともに、港区の行事にも積極的に参加し、知名度や好感度を向上させ、入園に結びつけていきます。

#### **[聖徳学園八王子中央幼稚園・多摩中央幼稚園]**

未就園児教室の活動の充実と遊び場としての環境整備に努め、参加者の増加を図っていきます。

#### **《基盤整備》**

##### **(6) 見える化による業務の効率化とモチベーションの向上**

業務の見える化を心がけ、教員一人ひとりの共通理解を図り、業務改善による効率化と、教員のモチベーションの向上につなげていきます。

### **【環境配慮】**

##### **(1) 環境にやさしい活動をする幼稚園**

ごみの分別やエコキャップ運動、テープの巻き芯の集めなど環境にやさしい活動に取り組み、園児の環境に対する意識の向上を図ります。